## 平成23年(2011年)の磐梯山の火山活動

仙 台 管 区 気 象 台 火山監視・情報センター

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく静穏に経過しました。

## ○ 2011 年の活動概況

・噴気など表面現象の状況(図1~2、図5~9)

剣ヶ峰(山頂の北約7km)に設置してある遠望カメラでは、山体北側火口壁からの噴気の高さは 100m以下で、噴気活動は低調な状態で経過しました。

10月25~28日に実施した現地調査では、前回(2010年10月5~6日)と比較して、山体北側火口壁噴気地帯及び沼ノ平の地表面温度分布 $^{1}$ 、噴気温度 $^{2}$ )に特段の変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) サーミスタ温度計による測定。サーミスタ温度計は、半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器です。
- ・地震や微動の発生状況 (図3~4)

火山性地震は少ない状況で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況 (図 10~11)

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。



図1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況 (12月2日08時05分頃) 剣ヶ峰(山頂の北約7km)に設置してある遠望カメラによる。 実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは100m。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (http://www.jma-net.go.jp/sendai/) や、気象庁ホームページ (http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html) でも閲覧することができます。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用しています (承認番号 平 23 情使、第 467 号)。また、同院発行の『数値地図 25000 (地図画像)』を複製しています (承認番号 平 23 情複、第 492 号)。

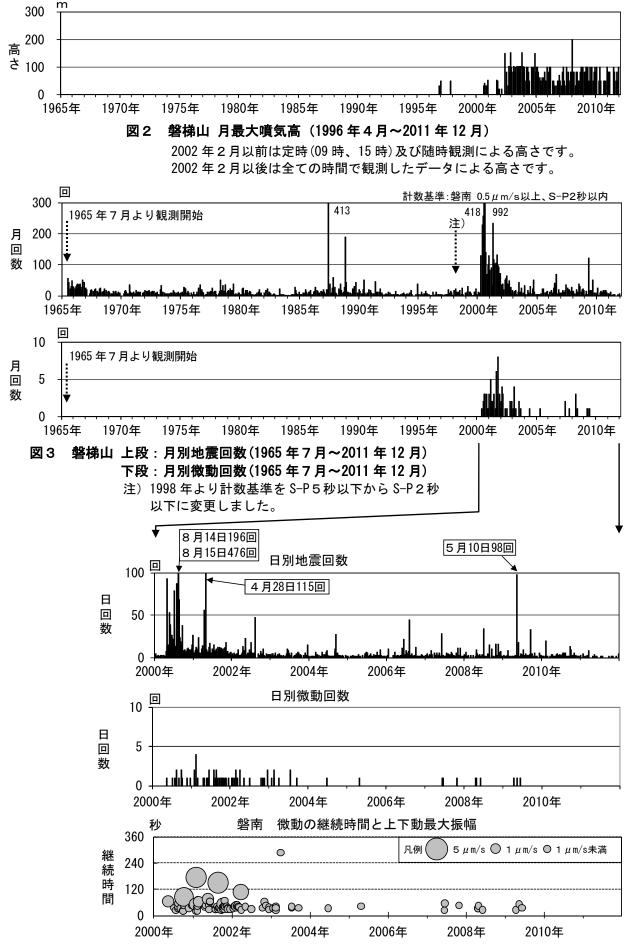


図4 磐梯山 最近の地震と微動の活動経過図(2000年1月~2011年12月)

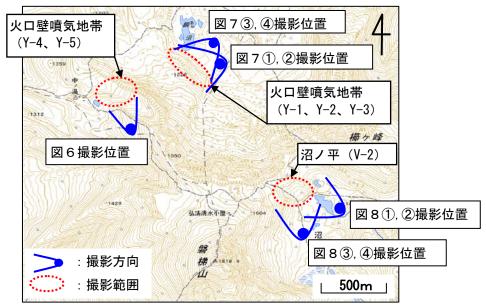


図5 磐梯山 図6~8の撮影位置と方向

この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図 25000 (地図画像)」を複製しました。

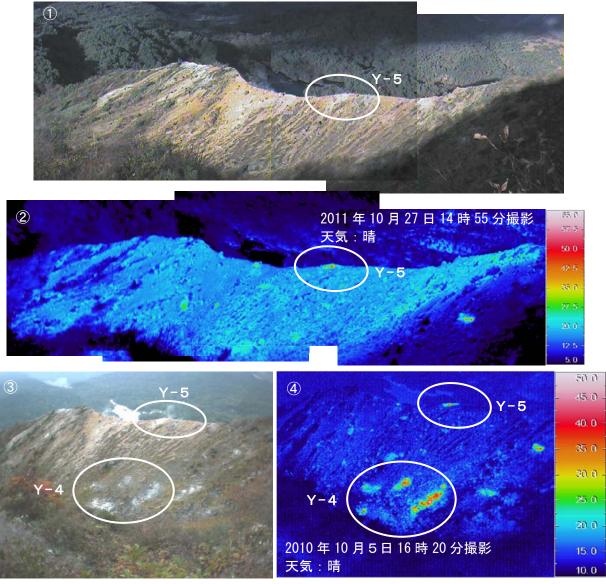
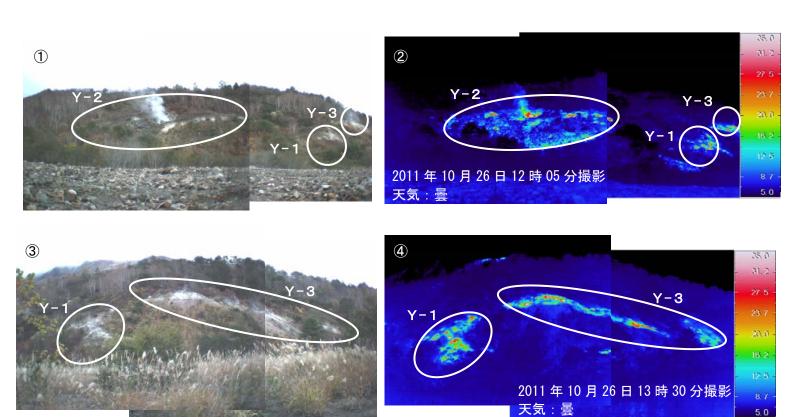


図6 磐梯山 火口壁噴気地帯(Y-4、Y-5)の可視画像と地表面温度分布<sup>1)</sup>

- 3 -

①、②: 2011年10月27日撮影 ※Y-4は撮影していません

③、④:2010年10月5日撮影



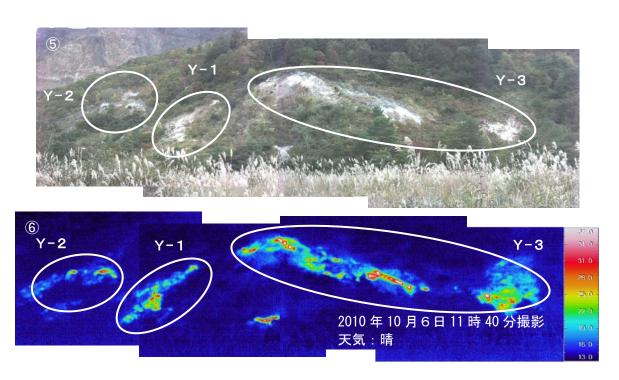


図7 磐梯山 火口壁噴気地帯 (Y-1、Y-2、Y-3) の可視画像と地表面温度分布<sup>1)</sup> ①、②、③、④:2011年10月26日撮影 ⑤、⑥:2010年10月6日撮影

- 4 -

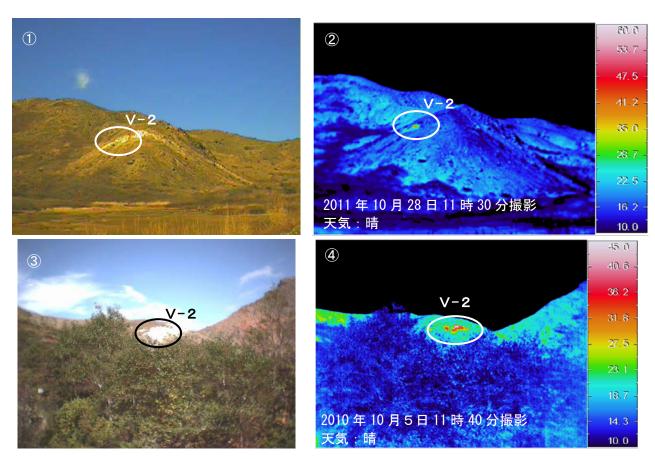


図8 磐梯山 沼ノ平(V-2)の可視画像(左)と地表面温度分布<sup>1)</sup>(右) ①、②:2011年10月28日撮影 ③、④:2010年10月5日撮影

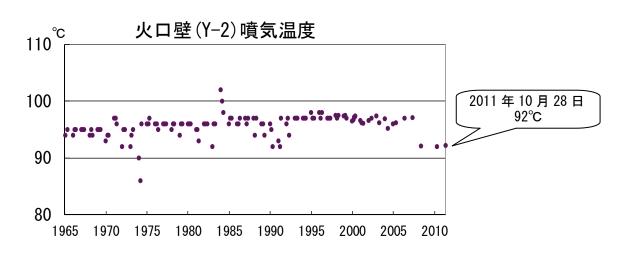
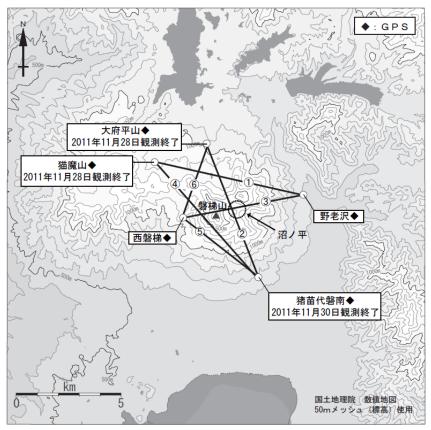


図9 磐梯山 火口壁 (Y-2) の噴気温度<sup>2)</sup> 変化 (1965 年 7 月~2011 年 10 月)



**図 10 磐梯山 GPS 観測点配置図** GPS 基線①~⑥は図 11 の①~⑥に対応しています。

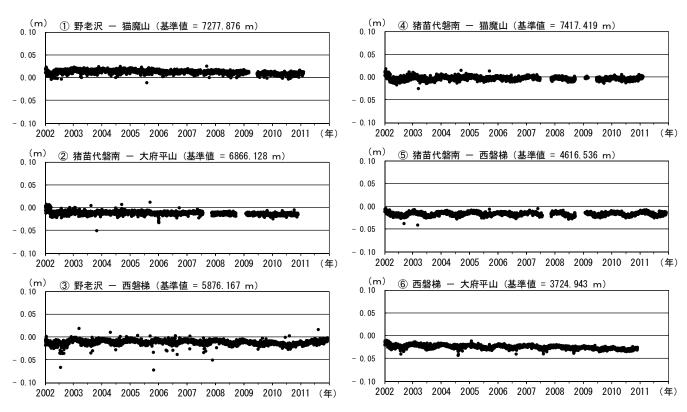


図 11 磐梯山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月~2011 年 12 月)

①~⑥は図 10 の GPS 基線①~⑥に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

大府平山及び猫魔山観測点は 2011 年 11 月 28 日に、猪苗代磐南観測点は 2011 年 11 月 30 日に観測を終了しました。

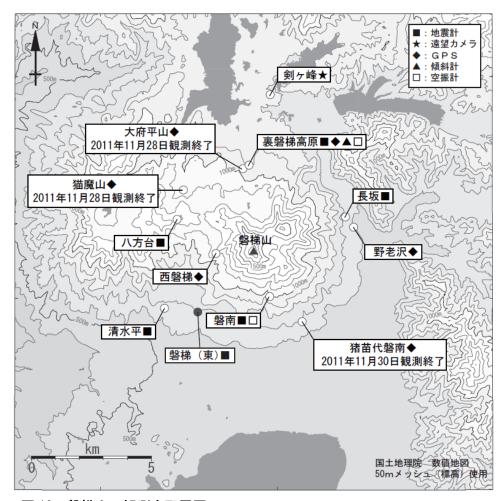


図 12 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸(〇)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東):東北大学

表 1 磐梯山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	緯度	位置 経度	標高(m)	設置高 (m)	観測開始日	備考
地震計	磐南	37° 35. 04′	140° 04. 79′	1000	, ,	1965. 4. 1	短周期 3成分 2000年11月2日:現在の場所に移設
	長坂	37° 36.84′	140° 06.93′	650		2005. 12. 8	短周期 3成分
	清水平	37° 34.78′	140° 01.81′	690		2000. 10. 11	短周期 2成分
	八方台	37° 36.78′	140° 02.16′	1260		2000. 11. 8	短周期 2成分
	裹磐梯高原	37° 38.01′	140° 04. 20′	902	-98	2010. 9. 1	短周期 3成分 ボアホール型
空振計	磐南	37° 35.0′	140° 04.8′	1000		2000. 11. 2	
	裹磐梯高原	37° 38.0′	140° 04.2′	902		2010. 9. 1	
傾斜計	裹磐梯高原	37° 38.0′	140° 04.2′	902	-98	2011. 4. 1	
GPS	野老沢	37° 36.6′	140° 07.2′	613		2000. 9. 6	1 周波
	大府平山	37° 37.9′	140° 04.0′	901	4	2000. 9. 8	1 周波 2011年11月28日:観測終了
	猫魔山	37° 37.5′	140° 02.4′	1070		2000. 9. 7	1 周波 2011年11月30日:観測終了
	西磐梯	37° 36.0′	140° 03.3′	1189		2000. 9. 7	1 周波
	猪苗代磐南	37° 34.5′	140° 05.7′	697		2000. 9. 6	1 周波 2011年11月30日:観測終了
	裹磐梯高原	37° 38.0′	140° 04.2′	902		2010. 10. 1	2周波
遠望カメラ	剣ヶ峰	37° 39.6′	140° 04.8′	810		1996. 4. 1	